

瀬戸市下水道事業経営戦略（案）【概要版】

2024（令和6）年度改定版

計画期間 2025（令和7）年度～2034（令和16）年度

I 経営戦略の概要

■経営戦略改定の目的

本市では、2020（令和2）年度に「瀬戸市下水道事業経営戦略」を策定しました。その後、2024（令和6）年2月に行った瀬戸市公共下水道事業基本計画の見直しや、同年12月1日に行った下水道使用料改定の効果を反映し、将来的にも安定した事業の継続を目指し、中長期的な経営方針を明確化するとともに、効率性と合理化を追求するため経営戦略を改定することになりました。

■経営の基本方針

本経営戦略では次の事項を経営の基本方針とします。

【経営の基本方針】

快適な生活環境・水環境の創出 効率的・効果的で持続可能な下水道事業

II 瀬戸市公共下水道の事業概要

■公共下水道事業の経営比較分析表における現状分析

以下の区分との比較を行いました。

- ・全国類似団体…処理区域内人口区分、処理区域内人口密度区分及び供用開始後年数別区分に基づく分類で示される「全国類似団体区分」のうち、単独公共下水道を運営する団体
- ・県内団体…愛知県内において公共下水道事業を運営する団体

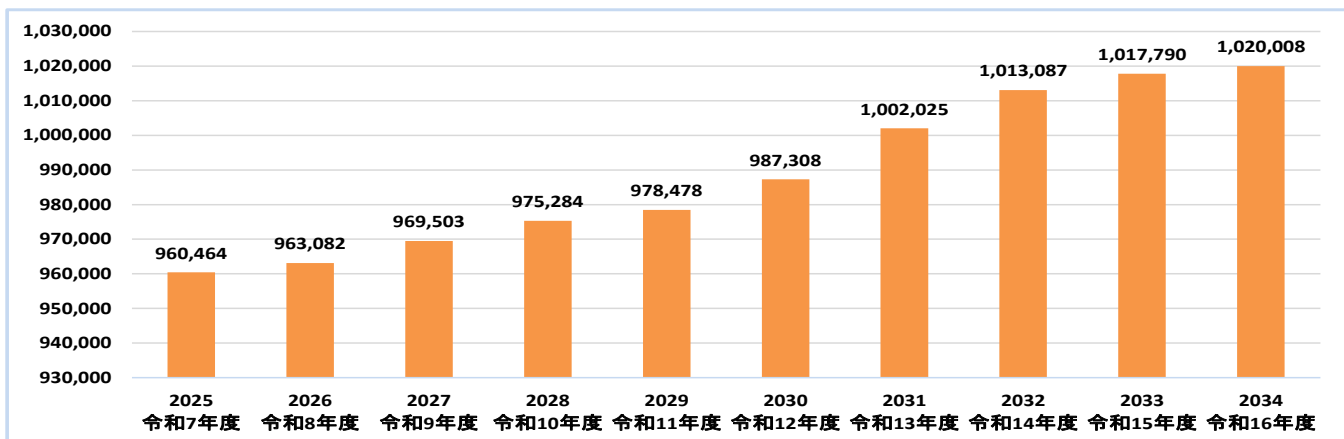
各指標の比較（2022（令和4）年度）

区分	経常収支比率（%）	経費回収率（%）	汚水処理原価（円）	水洗化率（%）
瀬戸市	101.86	64.65	139.55	87.62
全国類似団体平均	105.29	87.05	153.74	93.60
県内団体平均	102.76	78.48	153.16	84.49

III 今後の事業環境の予測

■使用料収入の予測

（単位：千円）



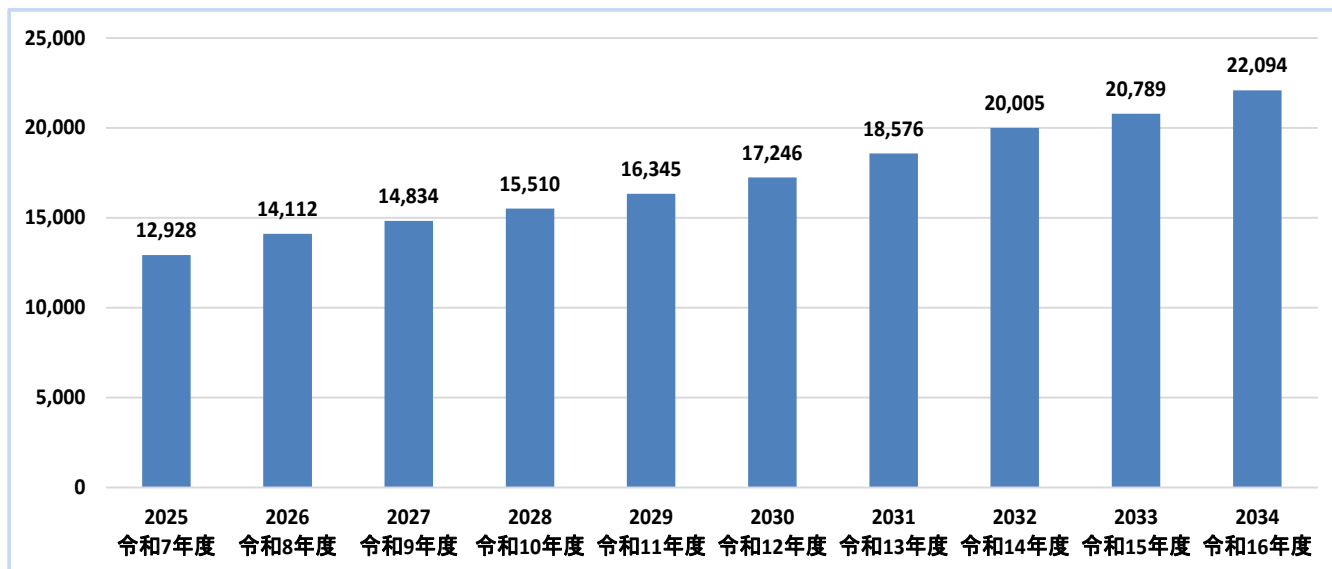
■投資の予測

公共下水道事業では、安定的に下水処理を行うために下水道施設や管路の健全性を維持することが極めて重要です。また、人口減少の影響により、有収水量は将来的に減少することが予測され、今後の新規の投資については、施設の老朽化や効率性を考慮する必要があります。

本市では、計画期間における投資予測総額は約290億円を想定しています。このうち、最も金額の大きい事業は下水道人口普及率上昇に向けた下水道整備事業となっています。

■企業債残高の予測

(単位:百万円)



Ⅳ 経営の基本方針の実現に向けて

■財政基盤強化に向けた課題

- 基準外繰入金(収益的収支)の発生
- 経費回収率が100%に達していない
- 物価上昇等による維持管理費の増加
- 企業債残高の増加

■経営の基本方針の実現に向けた目標

経営の基本方針を実現するために、次の3つの目標を設定します。

目標① 経常収支比率100%以上の維持

本計画期間内は基準外繰入金(収益的収支)に依存せず、100%以上を維持することを目指します。

目標② 経費回収率100%の達成

本計画期間内に100%を目指します。

目標③ 基準外繰入金(収益的収支)の解消

本計画期間内に解消を目指します。

■経営の基本方針の実現に向けた今後の取組

■収入増加の具体的取組										
2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)	2031 (令和13)	2032 (令和14)	2033 (令和15)	2034 (令和16)
取組：使用料改定										
改定	効果検証	改定必要性の検討	(改定)	効果検証	効果検証	効果検証	改定必要性の検討	(改定)	効果検証	効果検証
■支出削減の具体的取組										
2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)	2031 (令和13)	2032 (令和14)	2033 (令和15)	2034 (令和16)
取組：処理場施設運転管理の包括的民間委託										
取組：下水道クイックプロジェクトの更なる活用による管渠施設整備										
取組：管路施設維持管理業務の一括民間委託										
■目標										
2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)	2031 (令和13)	2032 (令和14)	2033 (令和15)	2034 (令和16)
目標①経常収支比率100%以上の維持										
	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上
目標②経費回収率100%の達成										
	80%	80%	80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
目標③基準外繰入金（収益的収支）の解消										
	目標達成に向けた検証			0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

V 経営戦略の取組体制

■経営推進体制

本経営戦略における取組は、都市整備部下水道課において実施していきます。情報収集及び進捗管理を行い、財政課や人事課と協議します。また、下水道課が事務局となり有識者と使用者を委員とする瀬戸市下水道事業経営審議会や市議会に対し意見等を求め取組を推進します。

■PDCAサイクルの実行

検証においては、経営比較分析表を毎年度作成し、経営指標を用いた経営分析や類似団体との比較分析を行います。また、審議会に定期的に経営状況の報告を行い、意見を求める等、チェック機能の充実を図り、PDCAサイクルにより経営状況を的確に把握し、経営の健全化及び効率化に取り組んでいきます。

■今後の取組の概要

経営状況を的確に把握し、経営の健全化及び効率化に取り組んでいきます。本経営戦略の次回以降の見直しについては、経営環境の変化や投資計画・事業計画の進捗を踏まえて、原則5年ごとに見直しを行います。